

「九条の会」アピールへの賛同のお願い

私たちは「九条の会」アピールを全国の科学者・研究者のみなさんにご賛同いただきたく考えています。ご賛同頂いた署名の結果は「九条科学者の会」ホームページ、記者会見、出版物、新聞の意見広告などで適宜公表します。

この会は、九条の会と同様、会の規約はなく、会の運営は賛同者の寄付にもとづいています。署名とあわせて、カンパもお願いできると幸いです。みなさんのご協力をお願いします。

2009年10月

九条科学者の会 賛同署名

私は「九条の会」アピールに賛同します。

(ふりがな)
氏名 公表可 公表不可

専門 _____

所属 _____

住所 〒 □□□-□□□□ _____

電話 _____ (_____) _____

メール・アドレス _____

● 私のメッセージ

.....

.....

.....

.....

.....

郵送、FAXもしくはEメールで送信して下さい。ホームページからも署名できます。

ひろげよう 九条の輪



- 1 **知る**「九条科学者の会」や各地域の「九条の会」が主催する講演会、シンポジウム等に参加しましょう。
- 2 **知らせる**「九条の会」アピールの賛同署名にご協力下さい。またこの賛同署名を自分が所属する大学・研究所や、専門分野の友人・知人に大きく広げましょう。
- 3 **つながる**「九条科学者の会」のホームページにアクセスしましょう。また、あなたのメッセージや身近な取り組みの情報を送って下さい。
- 4 **つくる**各大学・研究所・地域で憲法改悪を阻止し、平和と民主主義をまもるための運動をすすめましょう。自分が所属する大学、研究機関で「九条科学者の会」を作りましょう。
- 5 **つなぐ**若手研究者に働きかけ、若い人達の自主的な活動を積極的に支援しましょう。

「九条の会」のアピールを広げる科学者・研究者の会
(略称「九条科学者の会」)
〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 茶州ビル901
FAX/電話: 03-3811-8320
ホームページ: <http://www.9-jo-kagaku.jp/>
E-Mail: m-office@9-jo-kagaku.jp (*を@に変えてください)
郵便振替口座番号: 00100-3-500621
加入者名: 九条科学者の会

9状キュウリ写真/ 安積宇宙さん(13歳・東京都国立市在住)

いま憲法九条をまもり 世界の市民と手をつなごう

国民投票による改憲は許さない



九条科学者の会

九条科学者の会とは



「九条科学者の会」は2005年3月に20名の発起人を含む196名の呼びかけ人によって設立され、科学に携わる方々に「九条の会」アピールへの賛同を訴える活動を続けてきました。また全国各地の大学・研究機関の九条の会と連絡を取り、学習会や講演会活動を行っています。

■ 設立発起人=青木志郎(農村計画) 一番ヶ瀬康子(社会福祉学) 上原信博(経済学) 小田中聡樹(刑事法) 片平冽彦(保健学) 木下安子(看護学) 小森陽一(日本近代文学) 清水正嗣(腔・顎・顔面科学) 杉原泰雄(憲法学) 辰野高司(薬学・中毒学) 土山秀夫(医学・病理学) 暉峻淑子(経済学) 中村政則(日本近現代史) 西川正雄(ヨーロッパ近現代史) 浜林正夫(西洋史) 伏見康治(物理学) 堀尾輝久(教育学・教育法学) 本間慎(環境科学) 米田佐代子(歴史学・日本近現代女性史) 渡辺治(政治学)

発起人・呼びかけ人のアピール



構造改革政治をやめろという声を結集して民主党政権が誕生し、九条科学者の会にも新たな役割が期待されています。明文改憲はもちろん、アフガニスタンへの自衛隊派兵の策動や海外派兵恒久法など解釈改憲の動きをやめさせなければなりません。改憲国民投票法も、政権交代を機に、その廃止、根本的な見直しを求める運動が大切になってきます。

渡辺 治 一橋大学教授・政治学



アメリカのオバマ大統領のブラハ演説(2009年4月)をはじめ、核兵器廃絶に向けた世界平和実現の気運は、戦後最大の高揚期を迎えています。第二次世界大戦の日本の侵略戦争への痛恨の反省から生まれた憲法九条を今こそ内外に輝かすことは、私たち日本国民の歴史的責任、国際貢献と考えます。

三輪 定宣 千葉大学名誉教授・教育学

本の紹介

小沢隆一著『はじめて学ぶ日本国憲法』(大月書店、1800円)
憲法の真髄、改憲論の問題点、九条の先駆的内容がわかりやすく解説されています。著者は九条科学者の会呼びかけ人の1人。



私たちのとりくみ

1 改憲反対の国民運動を推進しています

2007年5月、自民・公明両党は「日本国憲法の改正手続きに関する法律」(国民投票法)を強行成立させました。この法律は九条改憲をはじめとする明文改憲をおこない、アメリカに従って「戦争する国」を作るためのものといえます。この法律に基づく国会での改憲発議が可能となる2010年5月を前に、改憲勢力によるいっそうのキャンペーンの推進が予想されます。しかし、国民の多数が反対すれば憲法改悪を阻止することは可能です。マスコミの世論調査報道でも、憲法九条支持は国民多数の意思です。わたしたちは九条改憲を阻止するために科学者・研究者の立場から全国的な運動を推進しています。

2 「九条の会」アピールへの科学者・研究者の賛同を集めています

私たちは、2005年3月から、「九条の会」アピールへの科学者・研究者の賛同を集め、アピールの国民への普及をはかる活動を行っています。現在、署名数は、3351名に達しました(2009年9月28日現在)。この全国的な活動をさらに広げ、憲法改悪を許さない運動に貢献したいと考えています。

3 様々な講演会活動に取り組んでいます

2006年3月12日には1周年記念の集いを、2007年3月11日に2周年記念の集いと、毎年3月に総会を兼ねた集会を行ってきました。今年(2009年)もまた、3月8日、1年の運動をふり返るとともに、さらに運動を大きく発展させることを願って、「4周年記念の集い」を開催しました。また各地の大学・研究機関の九条の会と連携をとり、相互の交流を図っています。



「九条の会」アピール

日本国憲法は、いま、大きな試練にさらされています。

ヒロシマ・ナガサキの原爆にいたる残虐な兵器によって、五千万を越える人命を奪った第二次世界大戦。この戦争から、世界の市民は、国際紛争の解決のためであっても、武力を使うことを選択肢にすべきではないという教訓を導かれました。

侵略戦争をしつづけることで、この戦争に多大な責任を負った日本は、戦争放棄と戦力を持たないことを規定した九条を含む憲法を制定し、こうした世界の市民の意思を実現しようと決心しました。

しかるに憲法制定から半世紀以上を経たいま、九条を中心に日本国憲法を「改正」しようとする動きが、かつてない規模と強さで台頭しています。その意図は、日本を、アメリカに従って「戦争をする国」に変えるところにあります。そのために、集団的自衛権の容認、自衛隊の海外派兵と武力の行使など、憲法上の拘束を実際上破ってきています。また、非核三原則や武器輸出の禁止などの重要施策を無きものにしてしようとしています。そして、子どもたちを「戦争をする国」を担う者にするために、教育基本法をも変えようとしています。これは、日本国憲法が実現しようとしてきた、武力によらない紛争解決をめざす国の在り方を根本的に転換し、軍事優先の国家へ向かう道を歩むものです。私たちは、この転換を許すことはできません。

アメリカのイラク攻撃と占領の泥沼状態は、紛争の武力による解決が、いかに非現実的であるかを、日々明らかにしています。なにより武力の行使は、その国と地域の民衆の生活と幸福を奪うことでしかありません。一九九〇年代以降の地域紛争への大国による軍事介入も、紛争の有効な解決にはつながりませんでした。だからこそ、東南アジアやヨーロッパ等では、紛争を、外交と話し合いによって解決するための、地域的枠組みを作る努力が強められています。

二〇世紀の教訓をふまえ、二一世紀の進路が問われているいま、あらためて憲法九条を外交の基本にすえることの大切さをはっきりしてきています。相手国が歓迎しない自衛隊の派兵を「国際貢献」などと言うのは、思い上がりでしかありません。

憲法九条に基づき、アジアをはじめとする諸国民との友好と

協力関係を発展させ、アメリカとの軍事同盟だけを優先する外交を転換し、世界の歴史の流れに、自主性を発揮して現実的にかかわっていくことが求められています。憲法九条をもつこの国だからこそ、相手国の立場を尊重した、平和的外交と、経済、文化、科学技術などの面からの協力ができるのです。

私たちは、平和を求める世界の市民と手をつなぐために、あらためて憲法九条を激動する世界に輝かせたいと考えます。そのためには、この国の主権者である国民一人ひとりが、九条を持つ日本国憲法を、自分のものとして選び直し、日々行使していくことが必要です。それは、国の未来の在り方に対する、主権者の責任です。日本と世界の平和な未来のために、日本国憲法を守るといって手をつなぎ、「改憲」のくわだてを阻むため、一人ひとりができる、あらゆる努力を、いまずぐ始めることを訴えます。

2004年6月10日

井上 ひさし(作家) 梅原 猛(哲学者) 大江 健三郎(作家)
奥平 康弘(憲法研究者) 小田 実(作家) 加藤 周一(評論家) 澤地 久枝(作家) 鶴見 俊輔(哲学者) 三木 睦子(国連婦人会)



「九条科学者の会」発足4周年記念の集い(2009年3月)で講演する益川敏英さん(呼びかけ人の一人・2008年ノーベル物理学賞受賞)

アピール賛同者のこえ



●「みなさん、どうぞ所属されている学会でも、「九条の会」を作りましょう。二度とふたたび科学者たちは戦争に協力しないと国民に宣言していきましょう。」日野川静枝(科学史・技術史)

●「『あーあ』では済まされません。私たちに、未来へ、次の世代への責任があります。」柳田 陽子(子育て・教育問題)

●「アメリカがあれだけ膨大な最新兵器を投入してもイラクをはじめ各紛争地で「敗北」しているばかりか、市民を殺戮するだけの結果になっています。20世紀後半から既に世界の紛争は戦争では解決しない時代になっているのを認識するべきです。そういう意味で9条は21世紀でこそ生かされねばなりません。」山田 穰(数学)

全国に広がる科学者の運動

大学人・北海道九条の会 九条の会・北大 室蘭工業大学九条の会 札幌学院大学「九条の会」 弘前大学九条の会 宮城・研究者「九条の会」 筑波研究学園都市研究所・大学関係九条の会 茨城大学九条の会 9条の会つくば 九条の会@群大 獨協学園九条の会 早大九条の会' article9' 早稲田から広げる九条の会 東京外語大九条の会 九条の会・東大 Komaba 九条の会・東大本郷 中央大学九条の会 中央大学教員九条の会 一橋大学教職員九条の会 明大学生九条の会 東洋大学九条の会 東京農工大学九条の会(準) 日本大学九条の会 首都大・都立大九条の会 和光大九条の会 立教九条の会 東京院生九条の会 大東文化九条の会 法政大学九条の会 大学九条の会・東京連絡会 東京学生九条の会"Peace Night 9" 東京院生九条の会 KHC(慶應義塾大学)九条の会 九条科学者の会・かながわ 関東学院大学九条の会 福井大学九条の会 九条の会・岐阜大ネット 憲法「九条の会」アピールに賛同する愛知・大学人ネットワーク 九条の会・名古屋大学有志の会 愛知大学九条の会 龍大九条の会 阪大・九条の会 大阪市大・九条の会 経大九条の会 神戸女学院大学九条の会 神戸大学教職員・旧教職員九条の会 島大九条の会 科学者九条の会岡山 山口大学関係者九条の会 大学人九条の会沖繩(以上、これまで本会発行の『経験交流資料集』に原稿をお寄せいただいた会のみ)